**ＥＳＤＧｓ通信　第158号　「防災授業の作り方」　手島利夫**

いつもお世話になっております。

台風11号が小笠原諸島から沖縄に向かって、猛烈に発達しながら進んでいます。海水温が30

度を超える海域です。今後迷走も予想されます。沖縄では最大瞬間風速７０ｍになりそうです。

　先日見た、ある防災授業の動画では・・・、洪水ハザードマップを使って、どの色の地域が

危険だとか、市役所防災課の人が説明をしていました。中学生は座って話を聞いています。そ

して、話が終わり、お礼を言わせてゲストの授業は終了しました。

　この授業で、話を聞いていた中学生の防災行動はどのように変化するでしょう。（多分、あ

まり大きな行動変容は、無いように思いませんか。）

　さて、あなたが授業者でしたら、こういう時に、どんな指導を進めるでしょう。

　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

　先程の授業では、水害の恐ろしさは残念ながら伝わっていませんでした。 他人事のように、

話が進んでいきます。私だったら、と考えずにはいられません。   
  
　浸水被害の想定を示す水害避難マップの説明のところで、   
「水害のハザードマップ上で、自分の家の場所を探して印をつけてください。」   
「ハイ、では次に、全員立ってください。はい、ご協力ありがとう。」   
「その中で、ご自宅の辺りが、〇色の所に住んでいる人は座ってください。浸水はなさそうですね。」   
「今立ってくれているのは、〇色と〇色の所に住んでいる人ですね。」   
と言いながら、３ｍ（ハザードマップの数値と合わせます）の竹竿を立てます。  
「今立ってくれている人たちの家の辺り一帯は、少なくとも竿の先の高さまでの水に沈みま

す！イメージしてみてください。」   
「その水は、透き通ったプールの水のようでしょうか。それとも泥水でしょうか。」   
「その水は、止まったまま動かない水でしょうか、それとも、流れのある水でしょうか。」   
「どんなものが一緒に流れてくると思いますか・・・」   
「皆さんの家はどうなるでしょうか。その時に助かる人はいるでしょうか」   
「避難所という声がありました。いいですね。前回の台風１５号や１９号の時に、避難所に

行っていた人は、座ってください。おめでとう。とりあえず生き残ったようです。」

「多くの人は、『今まで大丈夫だったのだから、今回も大丈夫だ』と思いがちです。特に、

父親は、『俺はここに残る』なんて、言いがちです。それに巻き込まれて逃げ遅れる家族もい

るかも知れません。」   
「まだ立っている皆さん、ハザードマップで行けそうな避難所を探して印をつけてから座ってください。お疲れさまでした。運よく、みんな生き延びたとしましょう。」   
「さて、この水が引くと、皆さんの家はどうなっているでしょうか・・・・。」

と、水害の後も大変なことが続きそうなことを思い出させます。  
　　   
**このように、中学生であったとしても、学びが自分ごとにならないと、行動変容は起こりま**

**せん。知識として知っていても、行動変容に繋がらないものは、価値ある「学び」ではありま**

**せんね。**

　では次に、役割演技の話をします。

「４人組になってください。そしたら、グーパーじゃんけんをしてふたりずつの組に分かれ

ましょう。」

「グーの組の人たちは、避難所に行こうと、あとの二人を説得する役です。」

「パーの人たちは、この雨の中、避難所には行かずに家にいるという主張をする役です。」

「第一回目のチャレンジです。パーの組の人たちが避難所に行くように、グーの人たち、頑

張って説得しましょう。時間は３０秒です。はじめ！」

「次は３０秒の作戦タイムです。説得するための言葉と、説得されないための言葉や言い方

を、工夫しましょう。」

「では、避難の説得、始め！」

「結果はどうでしたか」

「次は役割を交代してやりましょう！」・・・・・・

**家庭の防災における子どもたちの役割は、とても重要です。**

　巨大な台風が近づき、危険な状況はどの地方にもやってきます。危機が迫る前に対応するこ

とが重要です。台風が近づいてからでは、避難の可能性も狭まります。台風が来る前のいつ安

全に逃げるか考えさせたいものです。

　役割演技を、３日前、当日の雨が降り始めてから、暴風がひどくなってからと、時間を変え

て取り組ませてもいいかも知れません。とにかく、先生方の指導力と実践が子どもたちや地域

の安全を守ります。

　役所の防災課がゲストに回って来るのを待っていては、間に合いませんよ。ＳＤＧｓだから

指導をするのではありません。子どもも含めた地域の命を守るための指導です。

　先生方のご検討を祈ります。

では、お元気でお過ごしください。

**＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊**

「ＥＳＤ・ＳＤＧｓ推進研究室」　手島利夫

URL=https://www.esd-tejima.com/

　事務所：〒130-0025　東京都墨田区千歳１－５－１０

☏＝ 　 090-9399-0891

Ｍａｉｌ＝contact@esdtejima.com

**＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊**